

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所	加東市立鴨川小学校	研究グループ名	40
属・職・氏名	教諭 高尾 徹	根の会	

研究テーマ分類番号 (1 3)

(1) 研究テーマ
学習指導力の向上を目指して ～体育科の指導を中心として～
(2) 研究経過及び具体的な取組
6月21日 (1) 場所 加東市立鴨川小学校 体育館 (2) 参加人数 5人 (3) 内容 跳び箱運動の実技研修 (4) 成果 ・台上前転に必要な基礎感覚は「ふみきり」「腰の引き上げ」「腕指示感覚」「逆さ感覚」「めまい感覚」「回転感覚」「着地」であると確認し、台上前転を通して諸感覚を鍛える有効性を感じた。
7月26日 (1) 場所 加東市立鴨川小学校 体育館 (2) 参加人数 5人 (3) 内容 校内研究の進め方 全国学力・学習状況調査の分析 (4) 成果 ・2校の校内研究の進め方を交流することで、授業研究の進め方、研究構想図の作成の仕方や見方、振り返りの仕方など、研究の視点が増えた。 ・過去2年の全国学力・学習状況調査についての共通する内容を知った。国語科では表現技法や条件を設定して自分の考えまとめる力が重視されていると感じた。
8月10日～11日 根の会・カオス（京都の学習サークル）合同合宿 (1) 場所 加東市立鴨川小学校・鴨川の郷 (2) 参加人数 8人 (3) 内容 実践交流会（紙面発表）及び実技研修 (4) 成果 ・後転の指導の場づくりにおいて、マットをずらして重ねた場は、首の傾きを自然に生みだし、子どもが自らの段階に合わせて選択できるため、指導に効果的な場であると感じた。
11月22日 (1) 場所 学校厚生会北播活動センター 2階会議室 (2) 参加人数 5人 (3) 内容 体育科副読本の有効な活用について (4) 成果 ・講師先生から副読本の見方を教えていただき、4社の副読本を見比べた。見やすさ、指導が固定化しないか、指導法がわかるか、図の配置などを視点に、「子どもが使いやすいもの」「教師が使いやすいもの」を見つけることができた。